



学校通信 医生丘小だより

令和5年度 第22号 R6.1.31

北九州市立医生丘小学校

校長 大成 清徳

今日もおいしくいただきます 給食週間 始まる 1月29日(月) ~2月2日(金)

◎1月24日から30日までの1週間は、全国学校給食週間です。この時期に合わせて、本校でも、給食委員会が中心となって以下の目的のもと、次のような取組が行われています。

〈目的〉・学校給食が始まったのを知り、食生活を見直すきっかけとする。
・毎日食べている給食にかかわっているすべての人に感謝の気持ちをもつ。

① 学級での取組

・各学級で4つ切り画用紙1枚の作品を作成し、給食室前掲示板に掲示する。

② 給食時間の取組

1月29日(月)	給食週間について(校長先生のお話)	放送
1月30日(火)	「給食ができるまで」(DVD)、調理師さんへ感謝の賞状渡し	動画
1月31日(水)	紙芝居『けんちゃんの冒険 三色の栄養素』	動画
2月1日(木)	給食アンケート(結果のお知らせ)、野菜と魚の給食クイズ	放送・動画
2月2日(金)	野菜の大切さについて	動画

③ 給食委員会の取組

- 給食アンケート・・・5年1組担当(掲示)
- 紙芝居『けんちゃんの冒険 三色の栄養』・・・5年2組担当(動画)
- 野菜の大切さについて・・・6年1組担当(動画)
- 調理師さんに感謝の気持ちの賞状作成・・・6年2組担当(動画)
- 野菜と魚の給食クイズ・・・6年3組担当(動画)

◎給食は、今から約130年前、山形県の小学校で始まりました。その当時、家が貧しく、お弁当を持ってこれない子どもがたくさんいたので、お寺で勉強を教えていたお坊さんが、「おにぎり・焼き魚・漬物」といった昼ご飯を出したのが始まりだと言われています。その後、戦争で一時なくなった給食が、戦争が終わって再び始まったことを記念して、「学校給食週間」が定められました。やがて給食は全国に広まり、今では行事食や世界のいろいろな国の料理も取り入れられ、献立も充実してきました。

ところで、食事をはじめる時、みなさんは何と言いますか？そう、「いただきます」ですね。この「いただきます」には2つの意味があります。一つ目は「給食に関わってくれた方々への感謝」です。材料となる肉や魚、野菜の生産者の方、それらを運んでくれる業者の方、給食の献立を考える栄養士さん、医生丘小の児童や先生約370人分だけでなく、浅川中学校2、3年生の生徒や先生595人分まで、みなさんがおいしく食べられるよう毎日心を込めて調理して下さる10人の調理士さんたち。こうした方たちのお陰で、私たちは毎日栄養のバランスの取れた体に良い給食を食べることができるのです。

そしてもう一つは「食材への感謝」です。料理の材料になる肉や魚はもちろんのこと、野菜や果物にも命があります。その大切な命をいただくことへの感謝の気持ちでもあります。

毎日、食事ができること。これは、決して当たり前のことではありません。広く世界に目を向けると、食べ物が満足に入らない国や地域はたくさんあって、世界の中では、9人に1人が栄養不足の状態にあると言われています。また、栄養が足りないことが原因で5秒に1人、子どもたちの命が失われているのです。私たちの身近などころでは、能登半島地震の被災地で、水や食料が不足して、不自由な暮らしをしている方が多くいます。

1年に一度の『給食週間』に、こうしたことを思い出して、給食を支えてくださる多くの方に「ありがとう」の気持ちを込めて、当たり前には食べられることが、どんなに幸せなことかを噛みしめながら、いただくようにしましょう。

◆ゲストティーチャーを招いて

◎4年生:1月23日(火)~25日(木)
音楽『箏(こと)の出前授業』



◎和楽器の直接体験を通して、我が国や郷土の音楽のよさを実感することをめあてとして、NPO 法人和楽啓明の方をお招きして、箏の指導をしていただきました。『きらきら星』や『ふるさと』を、譜面を見ながら爪を付けて実際に弾いてみます。最終日には、ご指導いただいた先生方による演奏会が行われました。ラストには、『ふるさと』を、希望する児童とコラボしての演奏が行われ、短い期間での上達ぶりにお褒めの言葉をいただきました。

日頃、触れる機会のない箏を演奏した子どもたちから「手前にある音から遠くにある音に飛ぶとき難しかったけど、できてうれしかった」「箏をひく楽しさに気付いたし、より一層興味をもてました」等の感想が寄せられました。

各委員会の活動

企画運営委員会

◎今月も、朝8時から15分間のあいさつ運動が行われました。『マスクをしてもわかるえがお』を合言葉に、「おはようございます」と元気に声をかける委員さんに、登校してきた児童も笑顔でこたえていました。



図書委員会

◎6年生の委員さんが1年生、5年生が2年生の教室を訪れて、本の読み聞かせをしています。自分たちで1,2年生が喜びそうな本を選んで、分担してお話を読みます。ペープサートを作るなど、高学年らしいさまざまな工夫を凝らした演出もあり、1,2年生も、キラキラと目を輝かせて聞き入っています。



☆見つけよう、医生丘小の「よいところ」『みんなのポスト運動』

◎企画運営委員会の提案で始まった『みんなのポスト運動』。「医生丘小学校のよいところをたくさん見つけて紹介することで、みんながよいことをしようという気持ちになってもらおう」という目的でスタートしたものです。最近投函されていたものを紹介します。



☆Fさんが、友だちの落ちたえんぴつけずりをひろっていたので、小さなことにも目配り、気配りができるのをすごいと思いました。(5年・男子)

☆Kさんが、いつも係の仕事を進んでしていて、いいなと思いました。(4年・女子)

☆みんなが、もくもくそうじをされていていいと思います。(2年・男子)

◎子どもたちが投函した中から、全校で紹介したいことを、企画運営委員が選んで給食時間に放送で紹介しています。日常のさりげない気配りや思いやりのある行動ができることは素晴らしいですね。また、キラリと光る優しさや気遣いに気付く感受性も素晴らしいです。これからも、継続していきたい大切な取組です。